

ほ場大区画整備による、大型農業機械作業体系と低コスト土地利用型農業の展開及び法人化経営体の誕生（第2報）

農事組合法人大成農場 代表 木下 健

1. はじめに

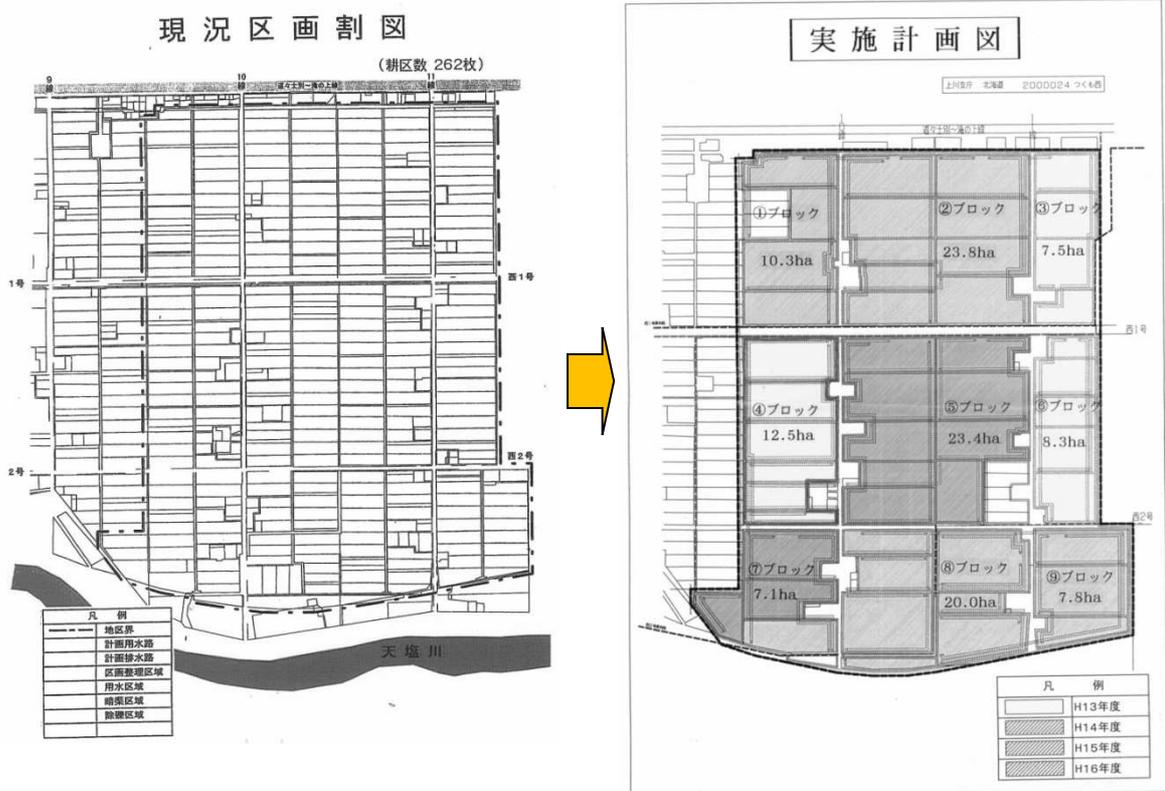
士別市の南東部に位置する中士別地域は平坦な水田地帯であり、水稻を中心とした集約型農業を行っている地域である。

平成12年度から平成17年度まで、道営ほ場整備事業「つくも西」地区としてほ場の大区画化整備を実施し、地区内のほ場区画が262枚となっていたものを49枚に集約するとともに、平均区画面積を2.5ha程度まで大区画化した。また大区画化に合わせて、ターン農道（農道のどの場所からもほ場へ農作業機械が出入りできる農道）の設置や用排水路のパイプライン化による地下埋設化により、作業効率の向上と維持管理作業の省力化が可能となった。

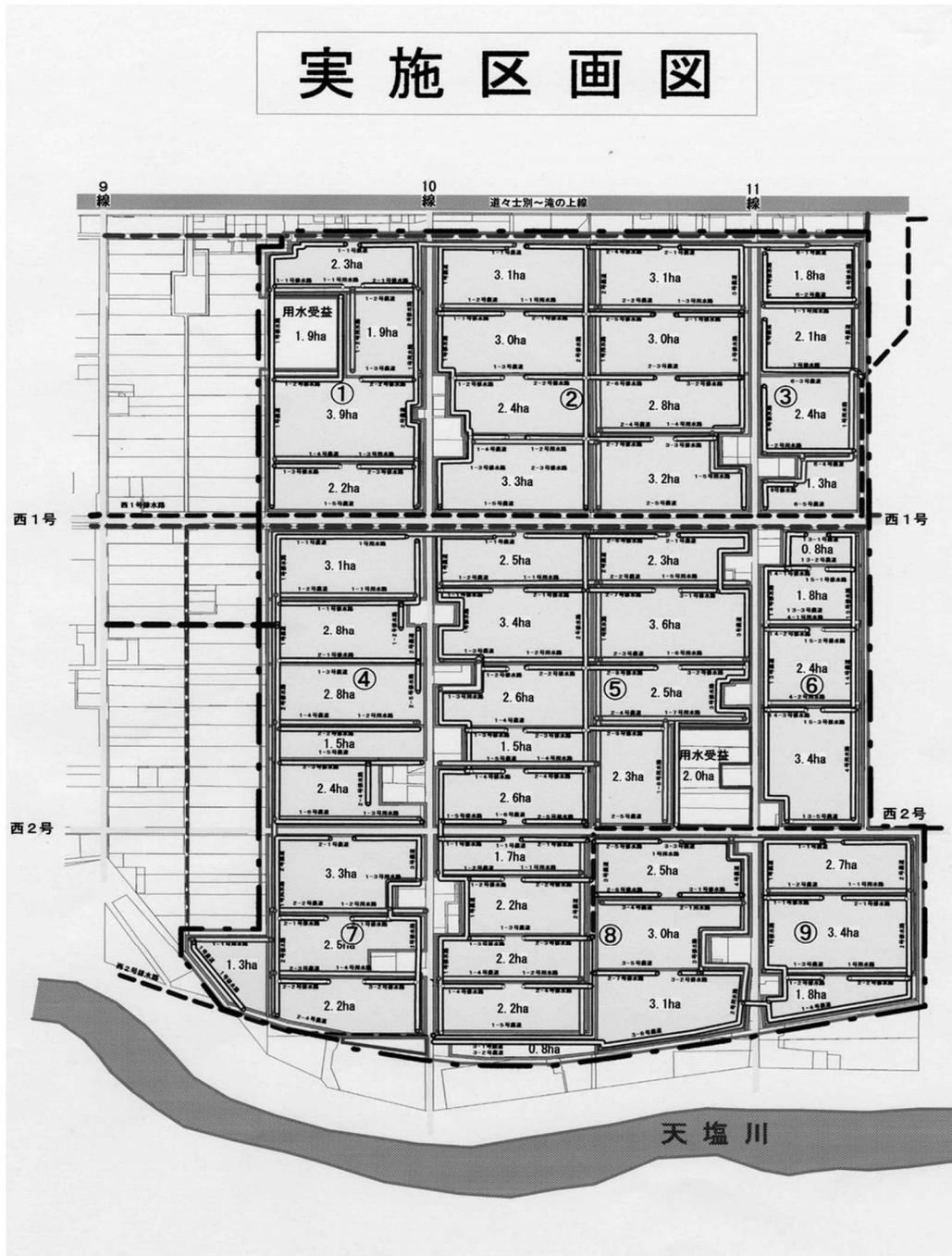
事業完了後10年が経過し、その後の維持管理や営農作業の変化について報告する。

2. 事業概要

1) 現況区画割図及び実施計画図



2) 実施区画図



3) 区画の形状

形状	面積	枚数	備考
1.0ha 未満	1.5	2	平均 2.5ha
1.0ha 以上～3.0ha 未満	70.8	32	
3.0ha 以上	48.9	15	
計	121.2	49	

3. 整備後の施設の状況

1) 用排水路の状況

事業完了後 10 年が経過しているが、土砂または落ち葉等による管路の目詰まりは発生していない。パイプライン化により法面が無くなったことにより用排水路の法面の草刈りが不要となった。

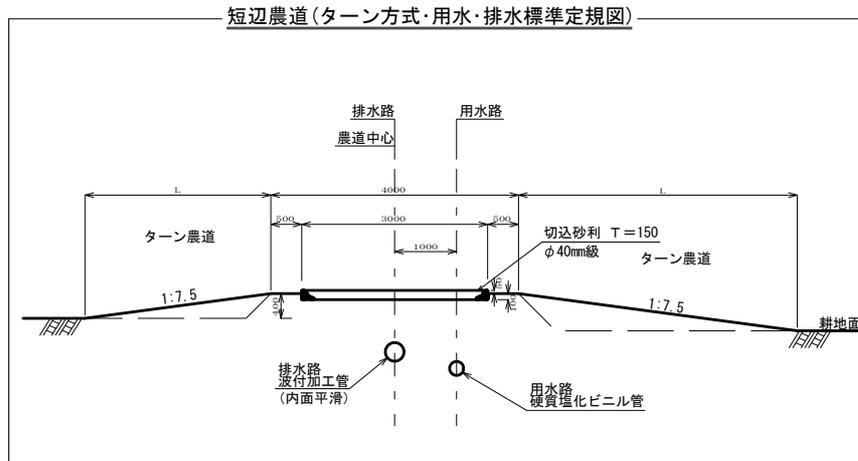


用排水路の現況

2) ターン農道の状況



ターン農道の現況



4. 整備後の営農状況

1) 作付面積の変化

現在から過去5年間のつくも西地区内の作付面積については下表のとおりである。

その他、地区外のは場において、南瓜、小麦の作付を行っている。

水稲はほぼ横ばいだが、近年大豆、ビートの作付面積が増加している。

大区画化による大幅な省力化が図られたことから、余剰労働力を活用し新たな作物を導入を検討していたが、近年の農業情勢の変化等により、現時点では新たな作物の導入には至っていない。

過去5年間の作付面積の推移

(単位：a)

	H23	H24	H25	H26	H27
水稲	5,921	5,975	5,930	5,923	5,744
小豆	701	1,009	587	510	383
大豆	1,994	1,752	2,028	2,036	2,212
ビート	1,083	990	1,216	1,433	1,563
アスパラ	30	30	30	30	30
南瓜	203	176	142	0	0

(大成農場資料より)

2) 農作業機械の変化

田植機 (完了後) 6条植え4台→(現在) 8条植え3台

トラクター (完了後) 87馬力3台→(現在) 変更無し

コンバイン (完了後) 5条刈50馬力4台→(現在) 5条刈75馬力2台

は場の大区画化、ターン農道の設置により、農作業機械の作業効率が向上したことにより、農作業機械の規格、性能も向上し、台数を減らしている。

また、農作業機械の走行距離が短くなるので、機械が壊れにくいといった効果も見られる。

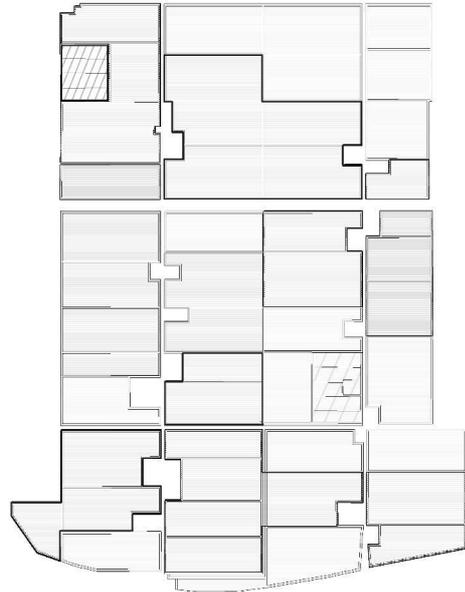
3) 農地集積の状況

着手前 (平成 12 年度)



凡	例
個別耕作農家番号	1 3 戸

完了後 (平成 17 年度)

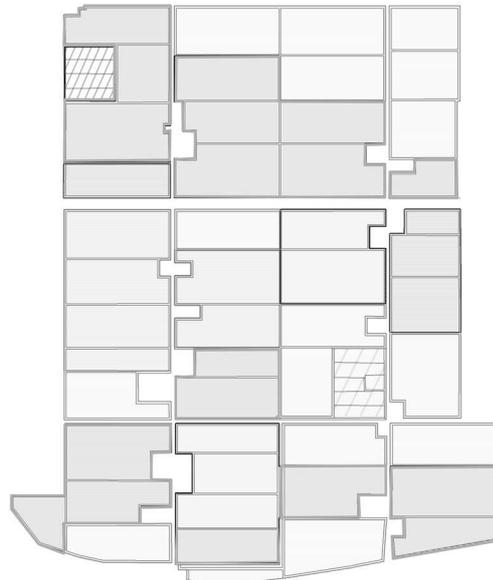


凡 例		
大成農場所有地		41.3ha
大成農場所有地 (育苗施設)		2.0ha
事業実施による利用集積 (大成農場)		19.6ha
大成農場構成員自己所有地作業委託		61.3ha
個別経営 (2 戸・出入作)		7.2ha
単独用水受益		1.9ha

着手前は 13 戸の個別経営農家だったものが、平成 14 年に農事組合法人「大成農場」を設立し、事業完了後には 57% の農地が大成農場への集約が図られた。

現在は、更に農地の取得が進み、約 80% の農地が大成農場が所有している。

現在 (平成 27 年度)



凡 例		
大成農場所有地		41.3ha
大成農場所有地 (育苗施設)		2.0ha
事業実施による利用集積 (大成農場)		64.4ha
大成農場構成員自己所有地作業委託		16.5ha
個別経営 (2 戸・出入作)		7.2ha
単独用水受益		1.9ha

5. 今後の課題について

1) 経年変化及び田畑輪換による大区画ほ場の不陸の解消について

農業用機械またはブルドーザによる均平を行っているが、個人での施工は経費が嵩む。

2) 空き家対策

離農した農家の家が空き家となっており、ネズミやキツネ等の巣となっている。

3) トイレについて

女性職員も多いため、トイレの設置ができる事業等がないか。

4) 農地取得におけるスムーズな名義変更において

法人化に伴い、金融機関から融資を受けるにも土地が担保となるため、これまで農地の取得を図ってきたが、名義変更に時間や労力がかかる。



水稻の収穫状況